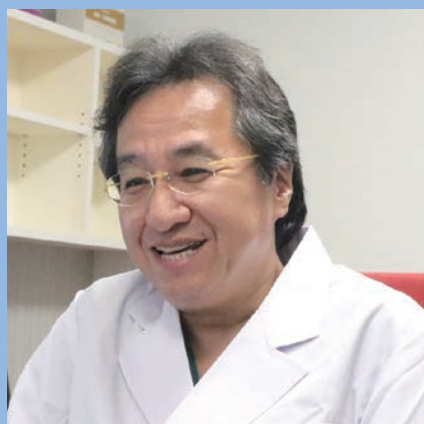


整形外科

骨粗鬆症について

骨粗鬆症とは、骨強度（骨密度＋骨質）が低下して骨がもろくなり骨折しやすくなった状態ですが、その診断基準は意外にも曖昧です。日本骨粗鬆症学会などのガイドラインによれば、背骨の骨折や大腿骨骨折などの脆弱性骨折（骨がもろくなったことが主原因の骨折）があり骨密度検査で若い頃と比べて80%未満にまで低下して

いる場合、または脆弱性骨折がなくても骨密度が若い頃の70%未満にまで低下している場合に、それぞれ骨粗鬆症と診断されます。大ざっぱに言ってしまうと、脆弱性骨折の既往があれば既に骨粗鬆症である可能性が高いのですが、既往がなければ、骨粗鬆症の初期に痛みや機能障害はありませんので検査してみなければ分からないということです。骨粗鬆症は食事だけが原因ではありませんし、治療できる時代になりました。骨粗鬆症が心配な人、特に60歳以上の女性は一度検査することをおすすめします。



田中 英俊

■ 整形外科

新ゆり整形外科



☎044-955-1154
麻生区上麻生1-3-5
ドレイクビル2F
<http://shinyuri-seikeigeka.com/>